

花子さんと太郎君は、社会科の授業で、1853年にアメリカのペリーが日本に来航したことがきっかけで鎖国が終わり、その後、外国との貿易が始まったことを学習しました。そのことについてさらにくわしく調べたいと思って、図書館で勉強しているところです。

太郎：ペリーは、どのようなルート（航路）で日本にやってきたのかな。

花子：資料1の、形が変わった地図を見つけたよ。これを見ると、ペリーは〔 ① 〕から〔 ② 〕を通過して、日本にやってきたことがわかるね。わたしは、てっきり〔 ③ 〕を横断してきたのかと思っていたわ。

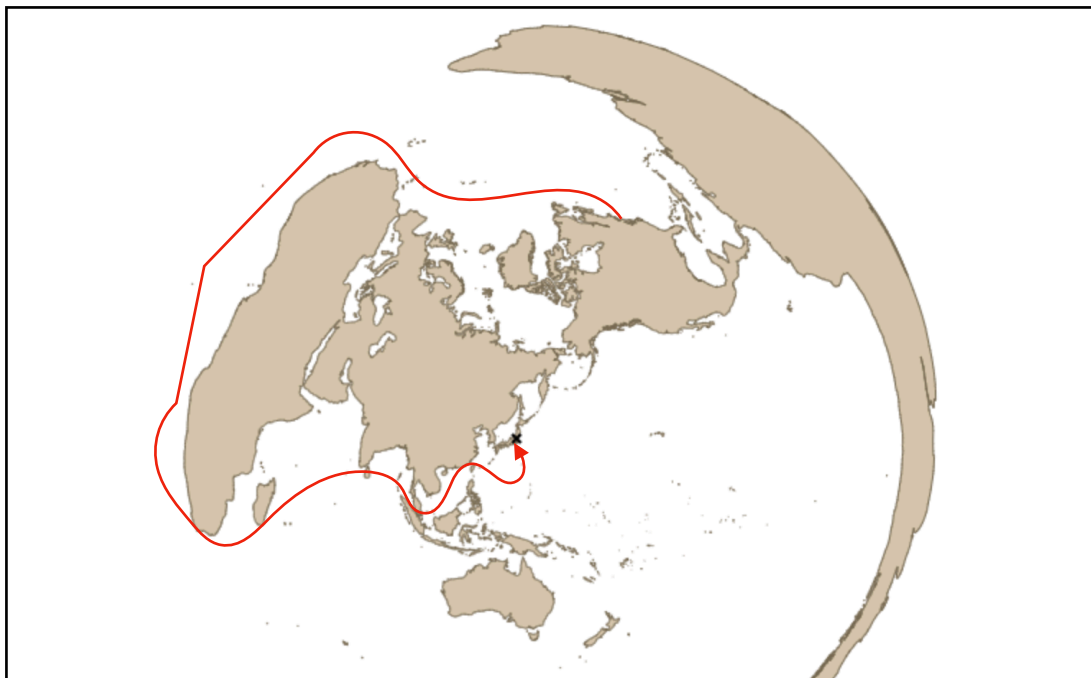
太郎：本当だ。どうして、こんなに遠回りをしてきたんだろうね。

花子：本には、その当時の船には〔 ③ 〕を横断するのに必要な燃料が積めなかったことや、この航路沿いの国とすでに貿易をしていたことなどが書いてあるわ。

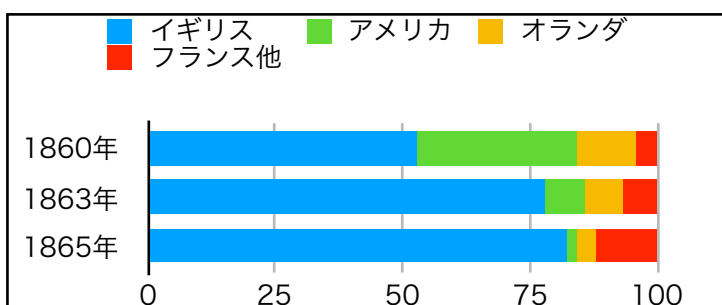
[問題1]

資料1を元に、会話の①～③にあてはまる「三大洋」のいずれかを書きなさい。

### 資料1 アメリカから日本までのペリー艦隊の航路



### 資料2 日本の相手国別貿易額の割合



太郎：資料2を見ると、開国した日本は複数の国と貿易をしていることがわかるね。

花子：アメリカとの貿易額の割合は、1860年は高かったのに、その後年々低くなっているわね。どうして低くなったのかしら。

太郎：資料3のうちの〔①〕から考えると、〔②〕が理由だと考えられるね。

〔問題2〕

太郎君が、上の会話2の〔①〕で選んだ資料として最も適するものを、下の資料3から1つ選び記号で答えなさい。また、その資料をもとに、太郎君が〔②〕でどのような理由を述べたのかを考えて答えなさい。

資料3 図書館で見つけた資料

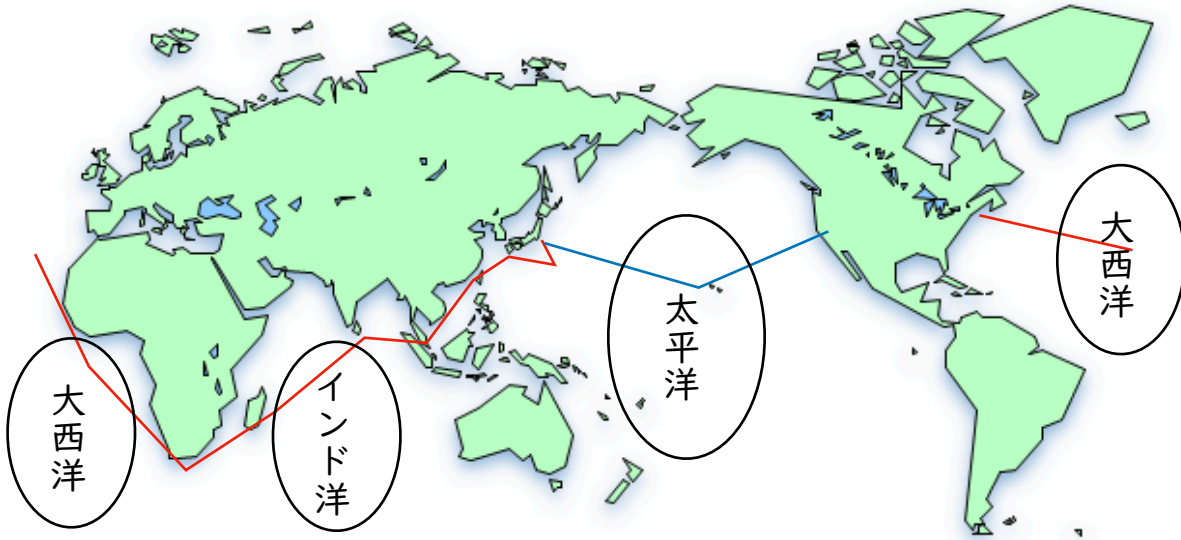
<p><b>ア 日本国内のできごと</b></p> <p>1860年 桜田門外の変で大老の井伊直弼が暗殺される</p> <p>1862年 生麦事件で薩摩藩士が英国人を殺害する</p> <p>1863年 薩英戦争が起こる</p> <p>1867年 大政奉還で江戸幕府が滅びる</p> <p>1872年 富岡製糸場が操業を開始する</p>	<p><b>イ アメリカ国内のようす</b></p> <p>1861年に、国内が南部と北部に分かれて戦う「南北戦争」が起きた。この戦争は4年間にわたり、両軍合わせて60万人以上の死者が出た。</p>																				
<p><b>ウ 世界に占める貿易の割合</b></p> <p>■ イギリス ■ アメリカ ■ オランダ ■ その他</p> <table border="1"><caption>貿易の割合の推定値</caption><thead><tr><th>年</th><th>イギリス</th><th>アメリカ</th><th>オランダ</th><th>その他</th></tr></thead><tbody><tr><td>1840年</td><td>25%</td><td>10%</td><td>10%</td><td>55%</td></tr><tr><td>1850年</td><td>25%</td><td>10%</td><td>10%</td><td>55%</td></tr><tr><td>1860年</td><td>25%</td><td>10%</td><td>10%</td><td>55%</td></tr></tbody></table>	年	イギリス	アメリカ	オランダ	その他	1840年	25%	10%	10%	55%	1850年	25%	10%	10%	55%	1860年	25%	10%	10%	55%	<p><b>エ アメリカ開拓の歴史</b></p> <p>1848年 アメリカの西部で金が発見される</p> <p>1862年 アメリカ西部の土地を開拓して5年間定住したら、土地をもらえるという法律ができる</p> <p>1869年 アメリカの西部と東部を結ぶ大陸横断鉄道が完成する</p>
年	イギリス	アメリカ	オランダ	その他																	
1840年	25%	10%	10%	55%																	
1850年	25%	10%	10%	55%																	
1860年	25%	10%	10%	55%																	

〔問題1〕 ①	〔問題1〕 ②	〔問題1〕 ③
〔問題2〕 ①		
〔問題2〕 ②		

## 解答

### 〔問題1〕

一般的なメルカトル図法の地図で見た場合、図のようになります。



アメリカ東海岸からアフリカ北西部（ポルトガル領マデイラ諸島）まで「大西洋」を横断し、アフリカをまわって「インド洋」上のセイロン（スリランカ）、シンガポール、香港を經由して琉球、小笠原諸島を経て浦賀に来航したことになります。

太郎が遠回りと言っているのは、アメリカ西海岸から「太平洋」を經由する航路（青線）を想定していると考えられます。

### 〔問題2〕

#### 解説

資料3のうち、アは日本国内のできごとに関するものですが、アメリカと関わるできごとについては不明なため、これを貿易額の割合低下と関連付けることはできません。

ウは世界に占める貿易の割合を表すものですが、1860年までしかデータがないので、1860年代の日本との貿易額の割合低下とは関係しません。

エはアメリカ開拓史で、ゴールドラッシュから1869年に大陸横断鉄道が開通したことを示していますが、1860年代の貿易割合との関係はありません。

ここでは、イに記された「1861年～1864年にアメリカ国内で南北戦争が起き、60万人以上の死者が出た」ことが1860年代の貿易額の割合低下と関連付けることができます。

〔問題1〕① 大西洋	〔問題1〕② インド洋	〔問題1〕③ 太平洋
〔問題2〕① イ		
〔問題2〕② 1860年代にアメリカ国内で南北戦争が起き、国内の 混乱で日本との貿易を十分にすることができなかった こと		